

橘中学校2年3組

小田原の竹下通り

最先端の技術や流行などをおさえた、たくさんのお店が城下町に並んでいる。お店の外見は江戸時代をイメージされたものだが、店内に入ると、現代にタイムスリップしたかのような感覚を楽しみ、ショッピングをすることができる。

観光地小田原

今も観光客が少なくないし、小田原城もあって良いと思うが、あと9年後は小田原城が際立つより、小田原城がなじむような昔っぽい街並みになり、観光客が口をそろえて小田原の名所が「小田原全部」と言ってくれる街になればいいと思います。

観光の街・小田原市

みんなが海を安全に利用できるように整備し、県外の観光客を増加させ小田原市に利益を増やし街をもっと発展させていければいいなと思いました。あと、かまぼこのレポーターを全体的に増やしてほしい。例えば、タピオカ味とか。

自然と楽しくふれあえる小田原

小田原で有名な野菜や果物を収穫できる場所があれば観光客が増えると思った。また、収穫した野菜や果物をその場で調理して食べるともっと楽しい思い出に残ると思った。自然に楽しくふれあうことができる街になる。

全国1位の観光地

小田原は、海に面しているため、海岸沿いに水族館があり、いろいろな海にいる生物と自由にふれあえる所ができ、いろいろな所から人が小田原に来て、この小田原市が、観光地として、全国で一位になる。

生き物と共にくらす小田原

ペットが遊べる広場をつくったり、「うちのペットとふれあって！」などの会があると、ペットも楽しくなるし町の人も生き物に対する考えが変わったり生き物を大切にできる。そして、生き物と共にくらす小田原になる。

災害の疑似体験

災害時のシュミレーションVRを公民館などに置いて、無料で逃げる練習ができるようにしたいです。VRにしたのは体験することによってより真剣に防災に取り組む人が増えるのではないかと考えたからです。

元気な小田原

色々なところに設備がよく、きれいな運動場があって常に解放されていて、色々な子供や大人まで運動を楽しめて、みんなが元気で、かつ、緑もたくさんあって過ごしやすく元気でおだやかな街。

綺麗な砂浜になるといいな

小田原市の海岸は、他の海岸と比べて石や砂石の割合が多い気がする。例を挙げると江ノ島のような砂が多くて、いつでも裸足で歩けるような場所。そうすれば、小田原の海も他の海岸に負けないくらいのスポットになりより自然が綺麗な街になる。

こんにちは

ドラえもんには悪いけど、ドラえもんも空飛ぶ車も要らないから、あったかい街になってほしい。みんなで助け合って、一人ぼっちの人もいなくなって、街中の人々が小田原の青空の下、笑顔で手を取りあう、そんな小田原になってほしい。

音を楽しむ街

みんなが音楽を楽しめるように週に2~4回ほど海の近くで音楽ライブをして人と人がふれあい音を楽しむ活動をして気軽に参加できるようにし、その近くには少し食べ物や飲み物を売っている小さなお店を置いて雰囲気がお洒落な街にする。

本屋が欲しい

本屋や図書館が増え、知識を求めている人々が簡単に必要としている知識を、手にいれることができるようになる。それによって学生たちの学力の底上げができたり、住民達に読書の習慣が身についたり、今よりレベルが高い街になる。

東京風小田原

東京みたいに、お店がたくさんあって自分の好きな物が色々そろろう。にぎやかな地域で夜景も田舎みたいに暗く寂しい気持ちで見ると、光で街がライトアップされていて気持ちが明るくなるような街が良い。

安心して暮らせる「小田原」

自転車専用道路をつくることで、車をもっていない人や、自転車通学が多い高校生も安心して通学できる。当然自転車置場も駅の付近などに新たに自転車置き場もつくる必要がある。よって事故が減り皆が安心して暮らせる小田原になる。

安全で安心な街・小田原

みんなが交通事故や自然災害の危険性を知り一人一人が自分の身を守る。その上、他の人の事を守れるようになり、交通事故の数が減り、災害の規模を最小限に抑えられて、安全な街になる。

僕のお願い

どの学校も自転車通学ができて、学校に自動販売機がある状態になっていて、プールが学校内にあり、近所に思いきり遊べるような広い場所や、遊具などがある子ども達が体のびのびつかって遊べる場所や施設が設けられている。

自然の里小田原

東京のようなビルだらけではなくて、緑がたくさんある落ち着けて、生物もたくさん生息していて川も透きとおった美しい川であってほしい。人も動植物も暮らしやすい場所になってほしい。自分はそんな小田原が好きだー！！

シャープンによる文章の確

人生の葛藤から解き放たれ、何も考えなくても生きていける街。人生をもっと前向きに考えることができれば、楽しくて誰とでも仲良くなれる気がする。あまり現実的じゃないけど、希望と想像に限界はない。もっとクリエイティブになろう。

橘中学校2年3組

市民一人一人が毎日を楽しく過ごせるために

小田原市内の幼・小・中学生が授業で取り組んだ作品や絵などがいろんなお店などに飾られることによってより、にぎやかになって一人暮らしの人や、施設に入ってる人など、いろんな世代の人がコミュニケーションをとれるような街になる。

四季を感じる小田原

春は菜の花、夏は新緑、秋は紅葉、冬は梅など季節ごとに変化する植物を植えることで、小田原の四季を楽しめる。人々の会話の話題にもなり、コミュニケーションが増えて、視覚的にも、気持ち的にも明るくなり、自然豊かな暖かい街になる。

便利な小田原市

常に小田原市のどこかで電車やバスが5分おきぐらいで来るようにする。そして自動車の事故を減らす。こうすることによって急いでいる人もあわてずに生活できるし自動車事故をなくすことによってより安全な街になる。

運動不足零の町

室内で運動ができる施設をつくって、雨の日などでも運動ができるようにしてほしい。休みの日が雨だと、家にいるなど、室内にいることが多くなってしまいうから、運動ができる施設つくすることで運動不足の人が少しでも減る。

自然豊かな街小田原

ありとあらゆる川の水質を上げ、ヤマメなどの魚も住めるぐらいにすんだ水にして、緑が豊かな街にしたい。したがって、在来種を大切に、外来種とのバランスをうまくキープできる街にしたい。

活気のある市

もっと小田原のことを知れるようなことがあればもっと魅力に気づけて人が集まったりして活気のある市になる。例えば小田原からの職業体験やSNSでの情報発信、唯一無二の名物、名所などがあればもっと活気のある市になる。

笑顔の街

なんでも広場があることで、自然をみんなで分かり合える場所になります。キャンプやピクニック、季節によって行事などをつくり小田原市民が楽しめる所になります。そして小田原市は笑顔で自然を大切にしている街になる。

大きな広場

遊園地など、大きな広場が作られたりすると土日の日とか、家族でピクニックしに来たり子供達は、スポーツなどをしに来たりして、こちらにはあまり大きな広場が無いから、大人も子供達も楽しく遊べるような広場がある街。

雪ダルマが作れる小田原市

2030年の小田原は雪が降るようになってほしいです。今は地球温暖化で雪がほとんど降らない。だから小田原市では冬はクーラーを26度以上あげないなどルールを作って2030年の小田原では、大きな雪ダルマを作りたいです。